

2023年2月21日
(5-5)

“TOKYU OOH” 駅デジタルメディアに 広告メジャメントを可能にするサービス「MilCount™」を導入 ～画像センシングを活用し、カメラ1台で広告効果を可視化～

株式会社東急エージェンシー(本社：東京都港区 代表取締役 社長執行役員：澁谷尚幸)は、パナソニック コネクト株式会社(本社：東京都中央区 代表取締役 執行役員 社長・CEO：樋口泰行)と、TOKYU OOH一部媒体(計5か所)に交通広告メジャメント(計測方法)として、パナソニック コネクト株式会社のOOH※1広告媒体接触者(オーディエンス)の可視化を可能にするサービス「MilCount™(ミルカウント)」を本日2月21日より導入開始しましたのでお知らせします。

※1 Out Of Homeの略。家庭以外の場所で接触する広告メディアとりわけ屋外メディアのこと。電車の中吊り広告や駅構内などの交通広告街頭や施設の大型ビジョンなどの屋外広告などがOOH広告にあたる。

詳細は別紙のとおりです。

この件に関するお問い合わせ

株式会社東急エージェンシー
東急OOHメディア事業局

遠藤 Mail : masayuki@tokyu-agc.co.jp

星野 Mail : k-hsn@tokyu-agc.co.jp

この件に関するお問い合わせ先

株式会社東急エージェンシー

コーポレート本部 コーポレートブランディング局 広報部 泉、高山、平松、寺本

Mail : kouhou@tokyu-agc.co.jp



SYMPHONIZED VALUE CREATION.

www.tokyu-agc.co.jp

2023年2月21日
株式会社東急エージェンシー
パナソニック コネクト株式会社

“TOKYU OOH” 駅デジタルメディアに
広告メジャメントを可能にするサービス「MilCount™」を導入
～画像センシングを活用し、カメラ1台で広告効果を可視化～

株式会社東急エージェンシー（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：澁谷 尚幸、以下、東急エージェンシー）と、パナソニック コネクト株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 執行役員 社長・CEO：樋口 泰行、以下、パナソニック コネクト）は、TOKYU OOH 一部媒体（計5か所）に交通広告メジャメント（計測方法）として、パナソニック コネクトの OOH※1 広告媒体接触者(オーディエンス)の可視化を可能にするサービス「MilCount™（ミルカウント）」を2月21日より導入します。



TOQ サイネージピラー 田園都市線渋谷駅 への導入イメージ

広告市場は、急成長するインターネット広告を中心にマーケティングのデジタル・数値化が加速しています。その中で OOH 広告においては、広告を出稿する事業者にとって、広告の効果測定が難しいという課題があります。駅構内の OOH 広告に接触した人の属性をもっと正確に把握したい、効果的な広告運用を検討したい、などのニーズの高まりを受け、パナソニック コネクトは画像センシング技術を活用してこれら OOH 広告特有の課題を解決する新サービスを開発しました。

東急エージェンシーは、パナソニック コネクトが提供する MilCount™ のサービス開発段階から協力し、今回東急線の駅構内のデジタルサイネージに導入をしました。交通広告業界で標準化が進められている「媒体接触可能者（＝Viewable）」と、実際に媒体が視野に入る「媒体視認者（＝Viewed）」の性別・年齢など属性別に分けた人数を計測します。これにより得られたデータを、広告出稿する事業者や広告会社に提供し、媒体価値を高め、交通 OOH 広告効果を可視化することで事業者のビジネスに貢献します。

また、株式会社小田急エージェンシーや株式会社メトロアドエージェンシー等も本サービスの実証実験を予定しています。交通広告業界でのメジャメント標準化が検討されている中、カメラを活用したメジャメントは広告効果可視化の手法の1つとして期待されるものと考えております。

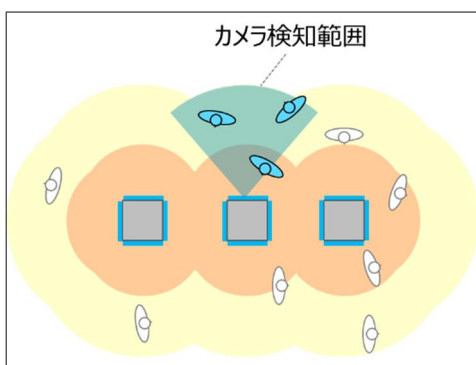
■ 導入概要

- ・導入開始：2023年2月21日(火)
- ・導入媒体：
 - ・TOO サイネージピラー東急田園都市線渋谷駅
 - ・東急田園都市線渋谷駅ビッグサイネージ
 - ・TOO サイネージピラー東急東横線/東急大井町線自由が丘駅
 - ・TOO サイネージピラー東急目黒線目黒駅
 - ・TOO サイネージピラー東急東横線/東急目黒線武蔵小杉駅 (計5か所)

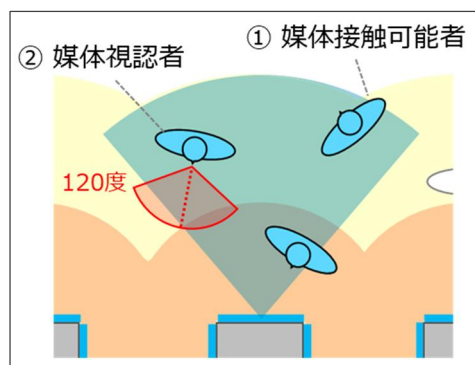
・計測内容：

指標		計測可能データ		
		日時	性別	年代
媒体接触可能者数	半径 10m 程度内にいる人数	○	○	○
媒体視認者数	半径 10m 程度以内で視野角 120 度に入る人数	1 時間毎		10 歳刻み

・計測イメージ：



日時・曜日毎にサイネージから半径 10m 程度内にいる「媒体接触可能者」の人数（性別、年代別）を計測



日時・曜日毎にサイネージから半径 10m 程度以内でサイネージから見て視野角 120 度に入る「媒体視認者」の人数（性別、年代別）を計測

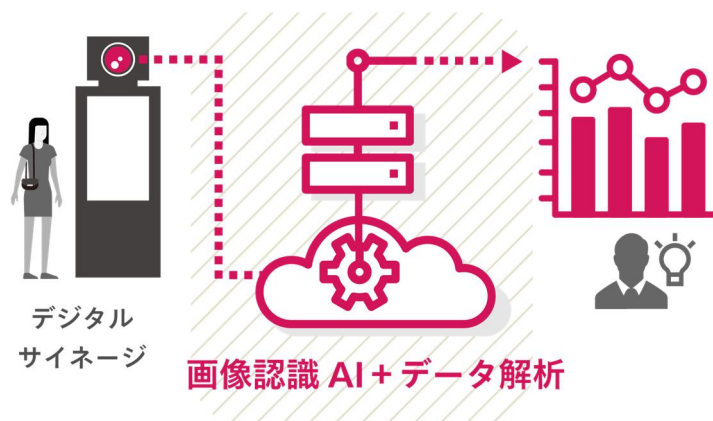
■ MilCount™ について

MilCount™ は、媒体接触者のデータを“速く、見やすく、簡単に”可視化するクラウドサービスです。独自の AI 推計ロジックにより、交通広告業界で標準化が進められている「媒体接触可能者」と「媒体視認者」の人数を計測できるため、広告を出稿する事業者や広告会社にて性別・年代など属性別のマーケティングデータとして活用いただけます。

■サービス特長

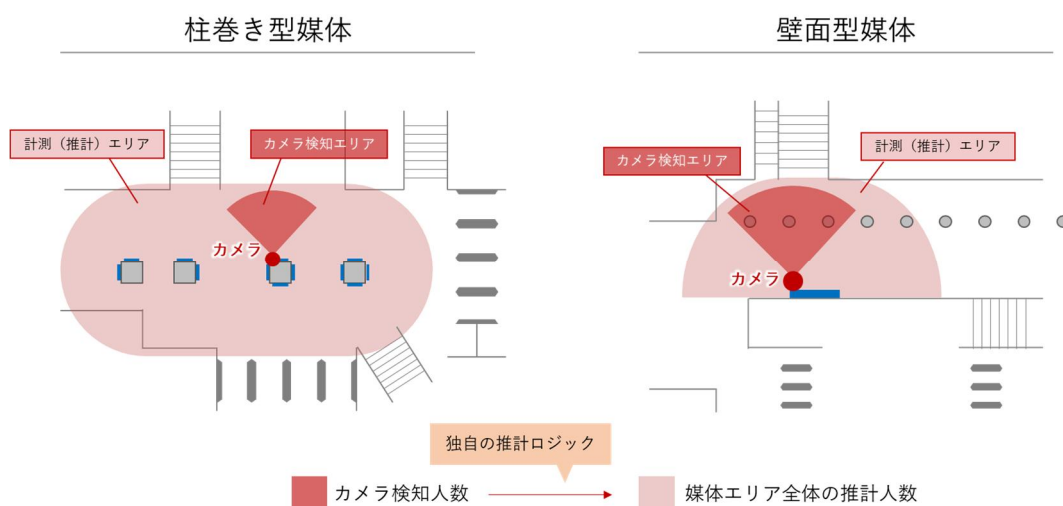
1. 画像センシング技術により媒体接触者のデータ（人数・顔の向き・属性）を収集可能

デジタルサイネージ上部に設置したカメラから人数・顔の向き・属性を検出（マスク着用者も検出可能）、媒体接触者のデータとして収集します。なお、パナソニック コネクトは、各種ガイドラインなど（例：経産省・総務省 IoT 推進コンソーシアム発行「カメラ画像利活用ガイドブック」）に基づくプライバシー配慮措置を重視しています。MilCount™ では、カメラで撮影された画像（個人情報データ）は画像センシングによる人数・顔の向き・属性の検出にのみ使用され、解析後は保持されることなく即時破棄されます。したがって、分析されたデータに個人情報は含まれません。



2. 1 媒体 1 台のカメラによる広範囲計測でコストの抑制を実現（パナソニック コネクト特許出願中）

デジタルサイネージのディスプレイが複数あるエリアにおいても、1 媒体につきカメラ 1 台のみを設置いただくだけで、10m 先・視野角 120 度以内の媒体接触者、すなわち広告が視野に入る「媒体視認者」の属性別計測が可能です※2。撮影された画像データの解析によって得られた属性データを、クラウドサーバーの独自の AI 推計ロジックに組み込み、拡大推計により、媒体設置エリア全体のデータを算出します。これにより、ディスプレイ毎のカメラ設置を削減し、設置工事やメンテナンスのコスト抑制を実現しています。



3. 閲覧用 BI ツールで、媒体接触者のデータを “速く、見やすく、簡単に” 見える化

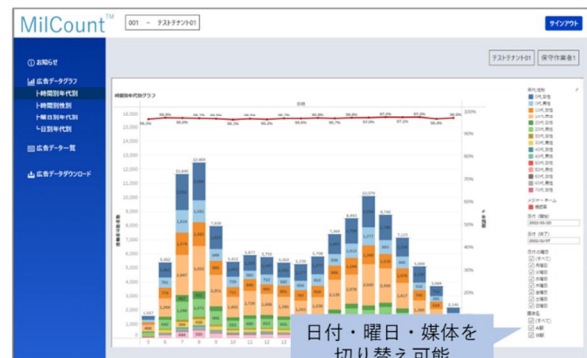
閲覧用 BI ツールで、媒体接触者のデータを分析し、広告媒体毎の特性を速く、見やすく、簡単に出力が可能です。クラウドサービスのためネットワーク環境があれば、Web ブラウザ経由で閲覧いただくことができます。

閲覧用BIツール 表示例

広告データ一覧表示



時間別・年代別グラフ表示



今後は TOKYU OOH の広告効果の可視化を進め、マスメディアや Web メディアとの統合的なメディアプランニングの実現を目指します。また、将来的にはデジタルサイネージのオーディエンスデータに基づく、Web 広告では一般化しているプラットフォームを活用した運用型広告への進化につなげていき、交通 OOH 広告の課題を解決してまいります。

▼パナソニック コネクトの駅構内・指令所 - 鉄道ソリューション

https://connect.panasonic.com/jp-ja/solutions_rail_concourse

▼パナソニック コネクトの現場センシングソリューション

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/gemba-sensing>

※1 Out Of Home の略。家庭以外の場所で接触する広告メディアとりわけ屋外メディアのこと。電車の中吊り広告や駅構内などの交通広告街頭や施設の大型ビジョンなどの屋外広告などが OOH 広告にあたる。

※2 標準サービスでは、半径 5m 程度以内で視野角 70 度に入る人（媒体注視者）もカウント可能です。

■パナソニック コネクトの画像センシング技術について

パナソニック コネクトの画像センシング技術の特長は、太陽光や気象などの外乱影響^{※3}を受ける屋外などの厳しい現場環境においても性能を発揮し、独自の画像処理アルゴリズムで捉えたい対象・事象を特定できる点です。約 60 年間のカメラの開発技術で培ってきた知見と、約 40 年間にわたって様々な現場環境で蓄積してきたデータをもとに構築した画像処理アルゴリズム、そしてあらゆるパターンのデータを学習させ精度を高めたディープラーニング技術を組み合わせ、画像センシング技術のノウハウを確立してきました。

これまで、人の頭部を検知し混雑状況で人数カウントを行う「人密集度可視化」や、人の流れの速度・方向を計測する「人流可視化」、駅のホームから転落しそうな人を検知する「転落検知」、道路上の人物、車・自転車・バイクや不審な置き去り物を検知する「物体検知」など、様々な画像センシング技術を社会に実装してきました。

※3 外乱影響…太陽光や影の影響、気象の影響、類似対象物の影響など画像センシング技術の精度を妨げる要因。

■株式会社東急エージェンシーについて

株式会社東急エージェンシーは、1961年創業の総合広告会社です。“人と社会の希望を彩り、前進するチカラをもたらす”ことを使命に、多様化するお客さまの課題に対し最適な統合ソリューションの提供に取り組んでいます。

多くの生活者接点を持つ東急グループならではのリアルに設計された実効性の高いマーケティングソリューション・体験づくりを実現しています。また、渋谷を基点とした城西南エリアを中心とした東急グループの交通・屋外メディアを運営・管理する媒体社でもあります。

OOHの媒体としての強みを活かしながら、オーディエンスのログ分析、効果予測に基づく実証販売、アドネットワークの構築などのDXに着手しており、本格的なプログラマティック運用を見据えて進化を続けています。

■パナソニック コネクト株式会社について

パナソニック コネクト株式会社は2022年4月1日、パナソニックグループの事業会社制への移行に伴い発足した、B2Bソリューションの中核を担う事業会社です。グローバルで約28,500名の従業員を擁し、売上高は9,249億円[※]を計上しています。「現場から社会を動かし 未来へつなぐ」をパーパス（企業としての存在意義）として掲げ、製造業100年の知見とソフトウェアを組み合わせたソリューションや高度に差別化されたハードウェアの提供を通じて、サプライチェーン、公共サービス、生活インフラ、エンターテインメント分野のお客様をつなぎ、「現場」をイノベートすることに取り組んでいます。また、人と自然が共存できる豊かな社会・地球の「サステナビリティ」と、一人ひとりが生きがいを感じ、安心安全で幸せに暮らすことができる「ウェルビーイング」の実現を目指しています。

※4 旧パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社の2021年度売上高

【TOKYU OOH および交通 OOH 広告に関するお問い合わせ先】


株式会社東急エージェンシー

東急 OOH メディア事業局 遠藤 Mail : masayuki@tokyu-agc.co.jp

星野 Mail : k-hsn@tokyu-agc.co.jp

【広告効果可視化サービス「MilCount™」に関するお問い合わせ先】

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 :  0120-878-410

(受付 : 9時~17時30分 <土・日・祝日は受付のみ>)

【報道関係者様 お問い合わせ先】

株式会社東急エージェンシー

コーポレート本部 コーポレートブランディング局 広報部 泉、高山、平松、寺本

Mail : kouhou@tokyu-agc.co.jp

パナソニック コネクト株式会社 広報担当

Mail : connect_pr@ml.jp.panasonic.com